

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】

授業科目名 科目ナンバー	生活支援の基本 II-4-5-4		教員氏名	佐久間志保子		
学年	専攻科		開講学期	前期		
授業形態	講義		単位数	2単位		
必修・選択	卒業必修		実務経験	看護師	27年	
テーマ	自分を知り、生活の援助者としての自覚を深め、生活支援を理解する					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を養うための科目				
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養うことができる科目				
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目				○
	科目群Ⅳ 実践	身につけた価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積む中で学び直し、キャリア形成の基礎を培うことができる科目				
授業の概要	学生が支援者として成長するためには自分を見つめることである。また、学生自ら高齢者や障害者の福祉について学び、知識を深める					
授業の 到達目標	1. ICFの視点を生活支援に活かし、生活の豊かさや心身の活性化のための支援を説明することができる。 2. 援助が必要な方の心理を説明することができる。 3.自分を見つめながら、高齢者の方との交流ができ、思いを説明することができる。					
テキスト	「生活支援技術Ⅰ」中央法規					
参考書	参考書はないが、入学前課題を自己研究の資料に活用					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する					
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(ゲーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
その他: コマシラバスの活用						
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	0	実施しない			
	授業内課題 ・発表等	80	研究発表60% ワーク1と3で20%			
	参加度・ 学習態度等	20				
その他						
再試験	行う	行わない 場合の 理由				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	生活とは何か、支援するとは何か	
	授業外学習	〈予習〉ワーク 1「自分を理解する」ワーク3「昔の遊びを探そう」に取り組む	210分
第2回	テーマ 内容	ワーク3「昔の遊びを探そう」を実際にグループ内で体験し、発表する	
	授業外学習	〈予習〉ワーク3「昔の遊びを探そう」について、高齢者を想定し、自分が調べてきた遊びに取り組む	210分
第3回	テーマ 内容	交流分析を用いて自己覚知する	
	授業外学習	〈復習〉交流分析を活用し、自分の気持ちや性格をレポートし、ワーク1「自分を理解する」に活用する	210分
第4回	テーマ 内容	高齢者体験を通して、加齢による身体的変化の理解をする	
	授業外学習	〈復習〉高齢者の身体的特徴の課題に取り組む	210分
第5回	テーマ 内容	高齢者体験を通して、加齢による精神的特徴の理解をする	
	授業外学習	〈復習〉高齢者の精神的特徴の課題に取り組む	210分
第6回	テーマ 内容	ゲストスピーカーへの質問から高齢者の生活などを理解する	
	授業外学習	〈復習〉ゲストスピーカーの体験をレポートにする 高齢者の生活背景を理解する	210分
第7回	テーマ 内容	高齢者のライフスタイル、ライフステージ、ライフサイクルの理解をする	
	授業外学習	〈復習〉ゲストスピーカーの高齢者の話などから、ライフスタイルや考え方をまとめる	210分
第8回	テーマ 内容	高齢者や障害者など福祉に関する研究の理解をする	
	授業外学習	〈復習〉研究について、学生が自ら自分なりに整理する	210分
第9回	テーマ 内容	高齢者や障害者に関する研究テーマの設定をする	
	授業外学習	〈予習〉学生が自ら高齢者や障害者に関する興味のある研究を文献等から考える	210分

第10回	テーマ 内容	研究の目的や方法の発表を学生一人ずつ行う	
	授業外学習	〈予習〉研究の目的や方法を整理する	210分
第11回	テーマ 内容	研究内容の修正等を学生が行う	
	授業外学習	〈予習〉研究内容を修正等を行う	210分
第12回	テーマ 内容	研究発表の準備をする	
	授業外学習	〈予習〉文献整理や研究をまとめ発表の準備をする	210分
第13回	テーマ 内容	各発表に対して、学生がそれぞれの発表内容を評価する	
	授業外学習	〈復習〉生活支援の基本で明らかになった自己課題を今後の学習に生かす	210分

#### 課題に対するフィードバックの方法

作成した課題の相互評価・自己評価結果のシェアリングによって、成果と課題を可視化する